

○3 番（宮原隆昌君）

3 番、宮原です。6 月、9 月に続きまして、3 回目の戸形小学校跡地についての質問でございます。

先日、戸形小学校グラウンドに訪問させていただきました。たいへん寒い日の午前中でしたが、駐車場が満車で、その日は前島地区の老人会が使用されており、15 名ほどの老人会員がグランドゴルフを楽しんでおられました。皆さん、たいへんお元気で、中には役場の OB の大先輩もおられ、「宮原、一緒にやるか」と、声をかけていただきました。そして、午後からは小瀬地区の老人会が利用するとのことでした。改めて利用度の高い場所であることが分かりました。それでは、質問です。

11 月 29 日に戸形地区 3 自治会の合同説明会が開かれ、3 自治会約 30 人の参加の中、山本副町長よりサウンディング調査の結果と、戸形地区の避難所の問題について説明がされました。説明の中で、戸形小学校跡地での公民館の建て替えや予算の投入はしないと断言され、別の場所での公民館の建設やグラウンドの整備を考えており、旧戸形小学校跡地にはホテル等の誘致を考えているように私は感じましたが、そのことについて質問いたします。

まず、戸形小学校跡地での公民館の建て替えや改修を認めないのはなぜでしょうか。

2 番目に、町執行部が考えている公民館とグラウンドの候補地はあるのでしょうか。

3 番目に、住民からの意見で、「跡地利用の協議会の設置が先である」との意見が説明会の席上ありましたが、町執行部はどう考えておりますか。

以上 3 点、よろしくお願いいたします。

○議長（濱野良一君）

山本副町長。

○副町長（山本浩司君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

まず、戸形小学校跡地での建て替えや改修ではなく、別の場所だと考える理由は、1 つには、土砂災害警戒区域という土地利用上の規制があり、避難所等の公共施設用地として支障があるということ。それから、旧校舎等の既存施設を解体撤去、あるいは大規模改修する財政的余裕がないこと。以上の大きく 2 点によるものでございます。

既存施設、既存建物が建っていない部分に建設すればよいとのご意見もあるかと存じますが、その場合、既存施設の解体や撤去をする財政的余裕がないことから、校舎やプールなどが手の施しようもなく廃墟となって残ってしまう恐れがございます。

また、戸形小学校跡地の大きな魅力は、あの場所でまとまった一団の土地が形成されていることにありますので、現状よりも狭い残地だけとなった場合、将来の利活用に著しい制約を受ける可能性がございます。

以上のことから、地区住民の皆さまには代替地での建設検討にご理解を賜りたく、ご説明を申し上げたところでございます。

2点目の候補地につきましては、具体的にどこに建設するかといった協議にまだ至っておりませんので、現時点では白紙の状態でございます。

3点目のご質問につきましては、担当課長からお答え申し上げます。

○議長（濱野良一君）

総務課長 笹山恵子君。

○総務課長（笹山恵子君）

宮原議員の3点目のご質問にお答えいたします。

3点目の住民説明会で、ご意見があった協議会につきましては、町といたしましても地域の方々が自ら協議をする場として、適当かつ有効であると考えますので、今後、地域の皆さまのご意見を伺いながら設置について検討してまいりたいと考えております。

なお、住民説明会の後、再度、地区役員の方々にお集まりいただき、ご意見を伺ったところ、説明会に出席する人が固定化するなど、町の取り組みや考え方がまだ十分に戸形地区の住民全体に伝わっていないとのご意見をいただきました。さらには、住民説明会に参加できなかった方々にもこれまでの経緯や現状、町の考え方を周知したうえで、意見を聴取するためのアンケートを実施してはどうかとのご提案をいただきましたので、まずはアンケート調査等に取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○3番（宮原隆昌君）

まず、戸形地区の避難所の件につきまして、たいへん心配していただきましてありがとうございます。しかしながら、副町長の答弁では、戸形小学校跡地が大変危険であるとのことでございますが、確かに土庄町津波土砂災害ハザードマップの戸形地区を見ますと、土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域が現在の戸形公民館と体育館の西側の一部にかかっております。しかしながら、グラウンド、プール、校舎のほとんどは土砂災害警戒区域から外れており、極めて安全な場所だと言えます。ここがあたかも危険な場所であるかのような印象を与えるのは、行政としてはいかがなものかと思えます。ぜひ、正確な情報の発信をお願いいたします。

さらに付け加えますと、南海トラフ大地震による津波が心配されております

が、例えばこの役場、新庁舎は安全を確保するために地盤高を 3.0m にしたと思います。しかしながら、想定通りの津波が来ますと、役場は助かりますけども、役場の周辺はもとより、本町、湊崎の大部分は浸水いたします。

それでは、戸形小学校跡地はどうでしょうか。海が近く、県道から見下ろすために低く感じている方もいるかもしれませんが、実は 4.2m の高さがございます。現状でも役場より 1.2m も高いわけです。というわけで、極めて安全な場所だと言えます。安全性と 3 地区の位置的条件を考えますと、この場所が避難所の設置に最適であることは間違いありません。町執行部は、これ以上の場所を考えているのであれば、早めに町民、議会にお知らせください。アンケートを取る前に提案いただければ、よりわかりやすいかと思います。

それから、協議会設置につきましては、設置までは行政指導をお願いいたします。

アンケートにつきましても、そもそも小豆島の宝である戸形小学校跡地を西浦 3 地区だけの意見で決められるものか疑問に思っております。最低でも現在、グラウンドや体育館、公民館の文化教室で利用しております町民の方へのアンケートは取っていただきたいと思います。また、アンケートの様式につきましては、議会の方にも周知していただきたいと思います。総務課長、どうでしょうか。

○議長（濱野良一君）

笹山課長。

○総務課長（笹山恵子君）

アンケートの様式等につきましては、今後考えてまいるものでございますので、また議会の方にもこんなかたちでのアンケートをさせていただくということで、機会を見てご説明申し上げたいと思います。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○3 番（宮原隆昌君）

どうもありがとうございます。たいへん住民が心配しております。もし何かありましたら、町長、何か一言ありましたら。なければ、もう終わります。

○議長（濱野良一君）

岡野町長。

○町長（岡野能之君）

宮原議員のご質問にお答えさせていただきます。

私といたしまして、戸形のみならずですね、各、町が保有している施設の今後につきまして、先日のですね、新聞でも、土庄町の 30 年後には人口が 48% 減少するというような状況でございます。そのような中で、今この時点で何か

を考えていかないと、今から人口が半分になった時点で、財政状況いいわけがありません。それとですね、中期財政計画もこのあいだ議会の方へ説明させていただきました。宮原議員も職員を長い間されておりましたので、土庄町が今現在、どれだけ厳しいかということは分かっておられると思っております。そのようなところで、公共施設をですね、このまま残したまま、そういうような町にしていいいのかどうかというところを、そこから議員の皆さまとお話をさせていただきですね、今後の活用方法について考えていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○3 番（宮原隆昌君）

はい、私も財政状況は分かっております。まだ、四海、湊崎と残っておりますし、他の公共施設もありますので、よろしく申し上げます。以上で質問を終わります。